

ライト点灯について

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、**B** ボタンを押すと約 1.5 秒間ライトが点灯します。
 →暗いところでも表示を見ることができます。

<モジュール 2736> <モジュール 4771> <モジュール 3746>



■ご注意■

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にアラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

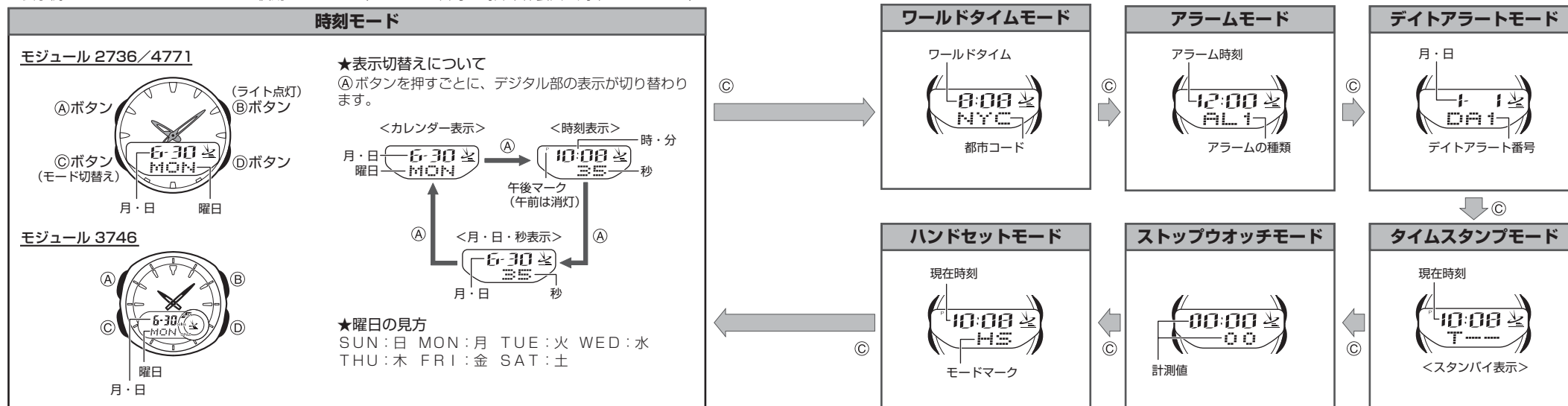
操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※表示例では、アナログ部(針)を省略する場合があります。

※表示例はモジュール2736/4771を使用しています(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています)。

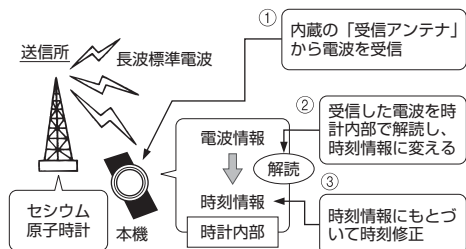
※アラームモード、デイトアラートモード、ハンドセットモードのまま2~3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



電波時計について

電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

標準電波

- 日本の標準電波 (JJY) は独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) が運用しており、福島県田村郡の「おたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」から送信されています。
- アメリカの標準電波 (WWVB) はNational Institute of Standards and Technology (NIST) が運用しており、コロラド州の Fort Collins から送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

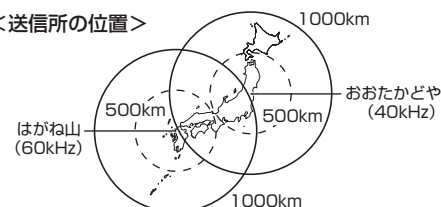
電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波 (JJY) またはアメリカの標準電波 (WWVB) を受信することができます (ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります)。

* ホームタイム都市の設定については「セットのしかた」参照。

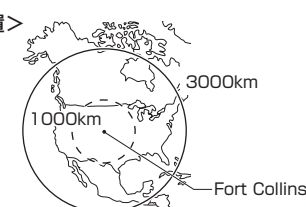
ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」または「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」からの電波を受信します。
LAX, DEN, CHI, NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

<送信所の位置>



- 条件の良いときは、送信所からおおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
- ※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。

<送信所の位置>



- 条件の良いときは、送信所からおおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
- ※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯 (昼・夜) などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



ビルの中およびその周辺 (ビルの谷間など)



高圧線、架線の近く



乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)



家庭電化製品、OA機器のそば (テレビ、スピーカー、FAX、パソコン、携帯電話など)



電波障害の起きるところ (工事現場、空港のそばなど)



山の裏側...など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

受信方法について

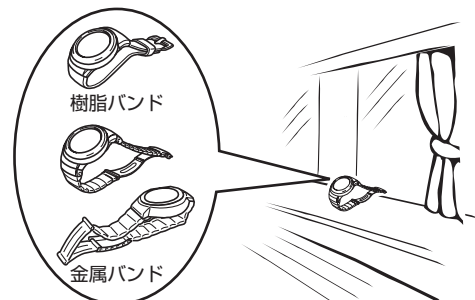
受信方法には、以下の2種類があります。

- ①自動受信 (午前2・3・4・5時に自動受信します)
- ②手動受信 (ボタンを押して手動受信します)

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部 (12時位置のアンテナ) を外に向けて窓際に置いてください。



- 時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
- 受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は?

受信時間はおよそ2~6分です。

※ただし、受信電波の設定で「A/T (自動選局)」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

* 受信電波の設定については「受信電波を選ぶ」参照。

●手動受信

時刻モードのとき

① ボタンを約2秒間押し続けます



→確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は時分が点滅して、受信マーク「≡」が変化します。

★受信を中止するときは

② ボタンを押します

※受信中は② ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

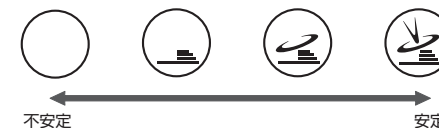
成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。受信マーク「≡」が点灯します。

★受信が失敗すると

時刻修正は行なわれず、「ERR」を表示します。※何も操作をしないと、1~2分後時刻モードに戻ります。

●受信マーク

受信中は受信状態によって受信マークが変化します。安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。



※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

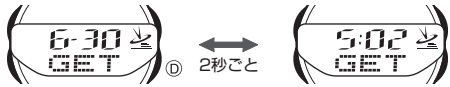
- 受信マークは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
- 天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

① ボタンを押します

- 受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
- ※月日と時分は2秒ごとに切り替わって表示されます。
- ※時刻モードに戻すには、もう一度①ボタンを押します。
- ※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



■ご注意

- 本機は「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を受信しますが、電波状況により「時・分・秒」のみ受信する場合があります。
- “”マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時・分・秒」「年・月・日」を受信	点灯する
「時・分・秒」のみ受信	点灯しない

- 「時・分・秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻モードで表示していた月日となります。

4. セットを終わる

① ボタンを2回押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
- ※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市をTYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「セットのしかた」参照。

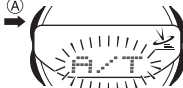
※工場出荷時には、「ホームタイム都市=TYO（東京）、受信電波=A/T（自動選局）」でセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

① ボタンを約2秒間押します

- 受信電波の設定になります。



2. 受信する電波を選ぶ

① ボタンを押します

- ①ボタンを押して、受信する電波を選びます。



●A/T

「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。

●JPN 40

「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。

●JPN 60

「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

3. セットを終わる

① ボタンを2回押します

- 点滅が止まり、セット完了です。
- ※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

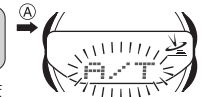
■自動受信のON / OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき

① ボタンを約2秒間押します

- 受信電波の設定になります。



2. 「自動受信切替え」にする

② ボタンを3回押します

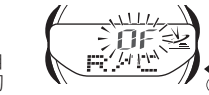
- “On” または “OF” が点滅します。



3. ON / OFF を切り替える

① ボタンを押します

- ①ボタンを押すごとに自動受信のON / OFF が切り替わります。



- On
自動受信はONになります。
- OF
自動受信はOFFになります。

■受信に関するご注意

- 自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
- 電波を受信するとデジタル部が先に修正され、それに連動してアナログ針部が修正されます。アナログ針部が正しい時刻を示すためには電波受信前に必ずデジタル部とアナログ針部の時刻を合わせてください。
- 受信中は、アナログ針部は動きませんので、時刻がずれていることがあります。
- 自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
- 本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、平均月差±20秒以内の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
- 本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

- 原因：・時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
・ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAX以外のときは、手動受信はできません。

- 処置：・手動受信は時刻モードで行なってください。
・ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAXのとき、手動受信を行なうことができます。「セットのしかた」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに“”マークが消えている

- 原因：・“”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
・一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前3時に消えます）。
・“”マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。
・自動受信のとき、時刻モードまたはワールドタイムモード以外のモードになっていた。

- 処置：・電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
・「受信成功」しやすい環境で使用してください。
・自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。
・手動で時刻修正をすると、“”マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：・サマータイムがONになっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：・1時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイムがONになっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。「セットのしかた」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

- 電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

受信電波	A/T	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	A	電波受信による自動切替え
自動受信	R/C ON	自動受信ON

ワールドタイムの使い方

◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市(29タイムゾーン)の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※ホームタイム(基本時刻)を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

ご注意

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては「セットのしかた」参照。

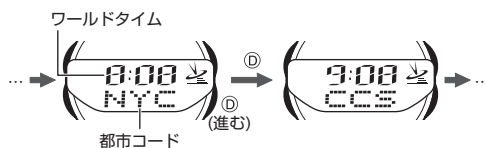
都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

㊦ ボタンを押します

→ ㊦ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。各都市の時刻が表示されます。

※押し続けると早送りします。

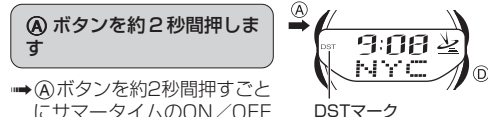


サマータイム (DST) について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムのON/OFF設定

準備: ワールドタイムモードのとき、㊦ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。



→ ㊦ ボタンを押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、「GMT」とホームタイムで設定している都市を表示しているときはサマータイムの設定はできません。

都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11		JRS	+2	エルサレム
HNL	-10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	-9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	-3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
---	-2		BKK	+7	バンコク
---	-1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	SEL	+9	ソウル
LON	+0	ロンドン	TYO	+9	東京
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2006年6月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

タイムスタンプ機能の使い方

◎ ボタンを押して、タイムスタンプモードにします。

タイムスタンプモードでは、時刻データ(月・日・時・分)を最大30件まで記憶できます。時刻データは記憶した順に見ることができますので、月日と時刻を覚えておくときに大変便利です。

※タイムスタンプモードに切り替えると、スタンバイ表示になります。

※ホームタイム(基本時刻)を24時間制にしているときは、タイムスタンプモードの時刻も24時間制で表示されます。

表示切替えについて

タイムスタンプモードのとき

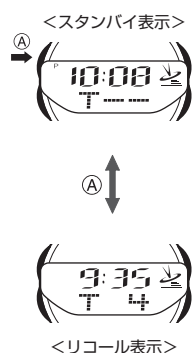
㊦ ボタンを押します

→ ㊦ ボタンを押すごとに、スタンバイ表示とリコール表示が切り替わります。

※スタンバイ表示では、時刻データを記憶させることができます(右記参照)。

※リコール表示では、記憶した時刻データを見ることができます(「時刻データを見る」参照)。

※時刻データを1件も記憶していないときはリコール表示に切り替わりません。



時刻データを記憶させる

スタンバイ表示のとき

㊦ ボタンを押します

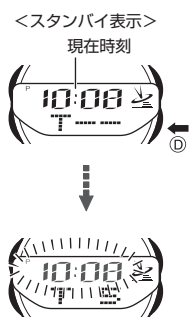
→ 表示が点滅して、㊦ ボタンを押したときの時刻データ(月・日・時・分)を記憶します。

※表示点滅後、スタンバイ表示に戻ります。

※最大30件まで記憶できます。

★データ自動入れ替え

記憶件数が30件を越えると、一番古いデータ(データ1)が消去され、以後、順番に番号が繰り上がって最新データが記憶されます。



時刻データを見る

リコール表示のとき

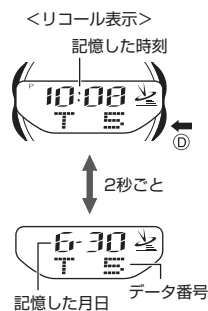
㊦ ボタンを押します

→ ㊦ ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

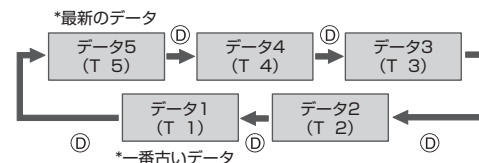
※押し続けると早送りします。

※月日と時刻は2秒ごとに切り替わって表示されます。

※リコール表示に切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。ただし、時刻データを記憶させた直後は最新のデータを表示します。



例) 時刻データを5件記憶したとき



時刻データを消去する

スタンバイ表示またはリコール表示のとき

㊦ ボタンを押しながら ㊦ ボタンを押します

→ "CLR" 点滅後、記憶したすべての時刻データが消去されます。

※時刻データ消去後、スタンバイ表示に戻ります。

※特定の時刻データのみ消去することはできません。



アラーム・時報の使い方

◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■アラームの使い方

●アラームの種類

本機には、5本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
(通常アラーム3本/タイマー付きアラーム1本/スヌーズアラーム1本)

●通常アラーム (AL1 ~ AL3)

セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。

●タイマー付きアラーム (TAL)

セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。
※セットした時刻までの残り時間を表示します。

●スヌーズアラーム (SNZ)

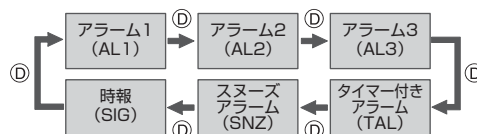
セットした時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

●アラーム時刻や残り時間を見る

アラームモードのとき

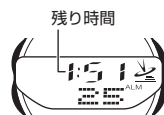
◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。



★残り時間表示について

タイマー付きアラーム (TAL) では、アラームをONにすると、アラーム時刻を表示後、セットした時刻までの残り時間を表示します。



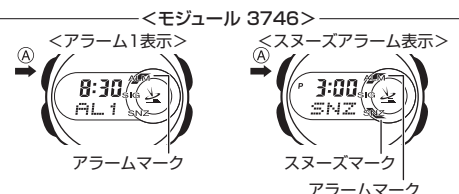
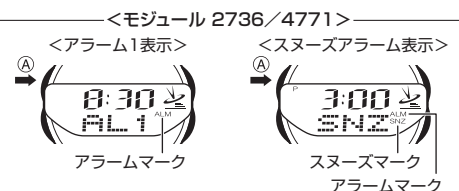
●アラームのON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとにアラームのON / OFF が切り替わります。

※アラームをONにすると、アラームマーク "ALM" が点灯します。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマーク "SNZ" も点灯します。



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。

※「アラームのON / OFF 設定」の手順でアラームマークとスヌーズマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ご注意

スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- ・時刻モードでセット状態に入る。
- ・アラームモード (スヌーズアラーム) でセット状態に入る。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、◎ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●アラームのセット

1. セットしたいアラームを選ぶ

アラームモードのとき

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押して、セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

◎ ボタンを約2秒間押します

⇒「時」が点滅します。
※セット状態にすると、自動的にアラームがONになります。



3. 「時」をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



※「時」のセットのとき午前/午後 (P) または 24 時間制 (24) にご注意ください。

※ホームタイム (基本時刻) を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

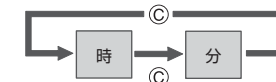
4. 「分」をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に◎ または ◎ ボタンでセットします。



※◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■時報の使い方

●時報について

毎正時 (00 分) に "ピッピッ" と電子音を鳴らすことができます。

●時報のON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、時報表示 (SIG) を選びます。

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに時報のON / OFF が切り替わります。

※時報をONにすると、時報マーク "SIG" が点灯します。



デイトアラート機能の使い方

◎ ボタンを押して、デイトアラートモードにします。

デイトアラートモードでは、誕生日や記念日などの月日を5本セットでき、設定した月日になると表示が点滅して知らせてくれます。

※デイトアラートモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

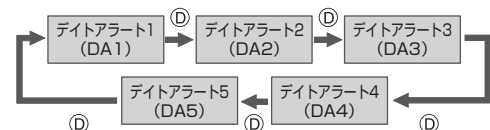
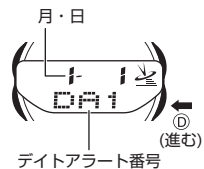
■ データを見る

デイトアラートモードのとき

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

※デイトアラート機能がOFFのときは、月・日は表示されません。



■ デイトアラートのセット

1. セットしたい表示を選ぶ

デイトアラートモードのとき

◎ ボタンを押します

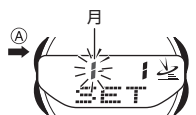
→ ◎ ボタンを押して、セットしたい表示を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

→ 「月」が点滅します。
※セット状態になると、自動的にデイトアラート機能がONになります。

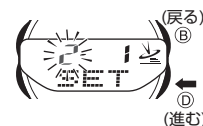


3. 「月」をセットする

◎ または Ⓑ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

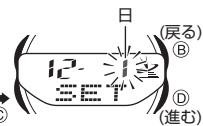
※◎・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



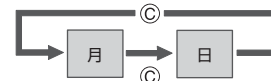
4. 「日」をセットする

◎ ボタンを押します

→ 「日」が点滅します。「日」も「月」と同様に◎ または Ⓑ ボタンでセットします。



※◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

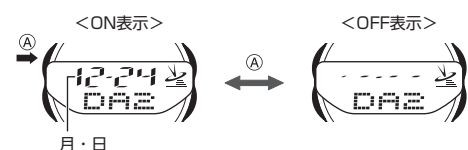
■ デイトアラート機能のON/OFF設定

準備：デイトアラートモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したい表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

→ Ⓐ ボタンを押すごとにデイトアラート機能のON/OFFが切り替わります。

※デイトアラート機能をONにすると、月・日が表示されます。



■ 設定した月日になると

デイトアラート機能がONで、時刻モードのカレンダーと設定した月日が一致すると、表示が点滅して知らせてくれます。

※表示点滅は時刻モードのカレンダー表示または月・日・秒表示のとき行ないます。

※日付が変わるまで点滅し続けます。

※「デイトアラート機能のON/OFF設定」の手順でデイトアラート機能をOFFにすると、点滅が止まります。

月・日と「!」が点滅



ストップウォッチの使い方

◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



● 通常計測

◎ → Ⓐ → Ⓐ

スタート ストップ リセット

積算計測…ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測

◎ → Ⓐ → Ⓐ → ◎ → Ⓐ

スタート スプリット計測 スプリット解除 ストップ リセット

● 1・2着同時計測

◎ → Ⓐ → ◎ → Ⓐ → Ⓐ

スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

- 計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- 計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等を合わせることです。

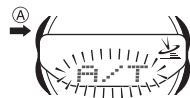
デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

A ボタンを約2秒間押します

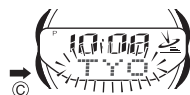


⇒受信電波の設定になります。
* 受信電波の設定については「受信電波を選ぶ」参照。

2. 「ホームタイム都市設定」にする

C ボタンを押します

⇒「都市コード」が点滅します。

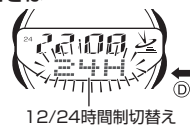


c. **D** または **B** ボタンを押します

⇒ **D** または **B** ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24時間制切替え」のときは…

D ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」が切り替わります。



12/24時間制切替え

★「秒」セットのときは…

D ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)

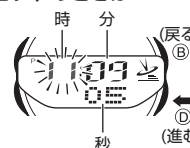


00秒になる

★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

D ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すことに戻ります。

※**D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。

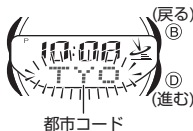


時 分 秒 (戻る) (進む)

3. ホームタイム都市を選ぶ

D または **B** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに都市コードが進み、**B** ボタンを押すことに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。
※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。
* 都市コード一覧については「都市コード一覧」参照。

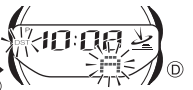


都市コード

4. 「サマータイム切替え」にする

C ボタンを押します

⇒サマータイムの切替えになります。



* サマータイムについては「サマータイム(DST)について」参照。

C ボタンを押して点滅箇所を移動させ、**D** または **B** ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのときは午前/午後(P), または24時間制(24)にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ針部の針も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り(正転方向)に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

5. ON / OFF を切り替える

D ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとにサマータイムのON / OFF が切り替わります。

●OFF
サマータイムはOFFになります(通常時間)。

●ON
サマータイムはONになります(夏時間)。
※DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

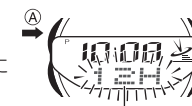
●A (AUTO)
電波受信により、自動的にサマータイムのON / OFF が切り替わります。
※ホームタイム都市がTYOのときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAXのときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。
* アメリカのサマータイム期間 = 4月の第1週日曜日のAM2:00～10月の最終日曜日のAM1:00

※ホームタイム都市がHKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OFF」⇔「ON」で表示が切り替わります。

6. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **A** ボタンを押します

⇒「12/24時間制切替え」になります。



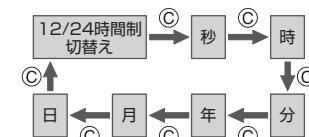
12/24時間制切替え

b. **C** ボタンを押します

⇒ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



秒



■アナログ部(針)の修正

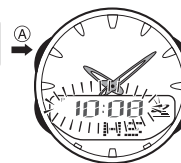
アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

A ボタンを約2秒間押します

⇒「時・分」が点滅します。



2. アナログ部を合わせる

D または **B** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに時計回りに1/3分(20秒)ずつ進み、**B** ボタンを押すことに戻りますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。



<針の自動早送り>

● **D** ボタンを押し続けて早送り中に **B** ボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

● **B** ボタンを押し続けて早送り中に **D** ボタンを押すと、ボタンを離しても針が戻り続けます。

● 自動早送りは時計針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

3. セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。